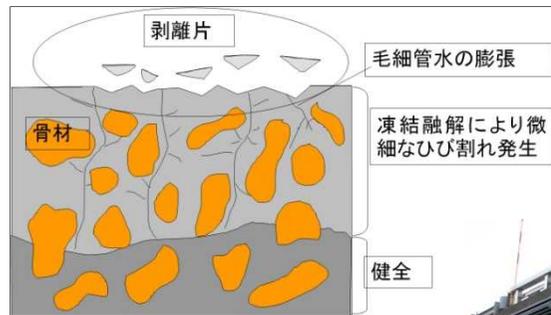


No.9 コンクリート施工後の表面全体の品質を評価する技術

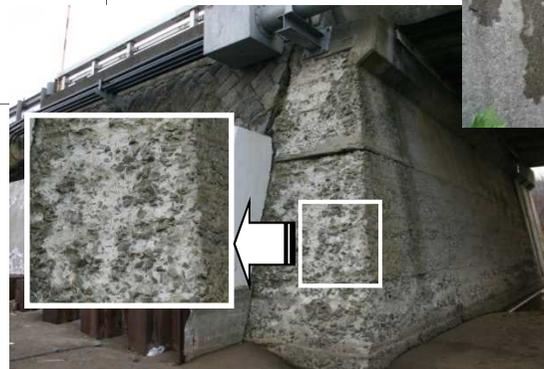
ニーズの概要

- コンクリート構造物の凍害や塩害に対する耐久性には表面性状が大きく影響
- 面全体を客観的・定量的に評価できれば、耐久性に優れる丁寧な施工や新技術の開発の促進が可能



凍害による剥離の進行
出典)寒地土木研究所

面的に剥離している事例
出典)「凍害が疑われる構造物の調査・対策手引書(案)」
寒地土木研究所



コールドジョイントからの劣化進行例
出典)寒地土木研究所



新技術により打設回数を減らした施工事例
→コールドジョイントを予防

出典)北海道開発局

ひび割れやジャンカ、コールドジョイント等の施工不良が無く、十分に養生された密実なコンクリートほど劣化しづらい

- ・現場条件に合った材料・配合の選定
- ・品質を重視した施工方法の選定
- ・丁寧な打設、十分な養生

圧縮強度による管理だけでは耐久性が評価されない

耐久性の高い
コンクリートの施工

施工直後に評価
できれば高耐久化
を促進

